

価値創造のあゆみ～Life Design Developerとして暮らしをささえ、地域とともに成長～

人々の暮らしの変化を見据えて、進化し続けてきたイオンモール。
これまでもこれからも、国内外で地域の発展とともに成長を続けます。



右: シネマを導入

左: 2000年 イオンモール高知 (高知県) オープン

ショッピングモールを、エンターテインメントや行政・コミュニティとしての機能、防災拠点も備えたインフラへと進化



2010年 イオンモール天津TEDA (中国天津市) オープン

地域に根ざしたローカライゼーションを重視し、個性あるモールを展開。同時に中間層が拡大するアジアへの出店を開始



右: 国内でワクチン接種会場を提供
イオンモール春日部 (埼玉県)

左: 2020年 イオンモール上尾 (埼玉県) オープン

商業施設という枠組みにとらわれることなく地域・社会にソリューションを提供、地域コミュニティの中核施設・社会的インフラとしての地位を確立



右: イオンモール土岐 (岐阜県) オープン

左: 2022年 ベトナム ダナン省と
出店に関する協力協定を締結

海外事業の高い利益成長を実現させるための施策と、国内事業でのエリアマーケットシェア拡大に向けた施策を推進

提供価値の変遷

1990年代～
郊外の立地創造で
ショッピングシーンを **創出**

2000年代～
アジアNo.1
ディベロッパーをめざし **発展**

2020年代～
Life Design Developerとして
「地域共創」を掲げ、地域とともに **進化**

2030年
ビジョン

モータイゼーションの発展と共に郊外型ショッピングモールを創造し、ショッピングシーンを改革



1992年: イオンモールつがる柏 (青森県) オープン

国内だけでなくとどまらず海外においても地域課題解決に貢献。アジアNo.1の商業ディベロッパーへ



2014年: イオンモール タンフーセラドン (ベトナム) オープン

地域の特性やニーズに合わせて、多様な開発パターンを構築



右: BIZrium 名古屋 (愛知県) オープン

左: 2021年 イオンモール Nagoya Noritake Garden (愛知県) オープン

2030年ビジョン

Be Co-Creator for Sustainable Region
as Life Design Producer.
イオンモールは、地域共創業へ。

▶ P.09

法改正などの外的要因や外部機関の評価・認証など

1973年
大規模小売店舗法 (大店法)

2000年
大規模小売店舗立地法 (大店立地法)

2011年
改正都市計画法

2018年
• MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)
• なでしこ銘柄

2020年
• 健康経営優良法人2020認定
• Sompo Sustainability Indexに選定
• TCFD賛同

2022年
• FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexに選定
• プラチナえるぼし認定を取得
• SBTコミットメントレター提出

価値創造

- 13 価値創造のあゆみ
- 14 価値創造プロセス
- 15 イオンモールのビジネスモデル
- 16 イオンモールの事業 (国内・海外)
- 17 価値創造ストーリー (強みと経営資源戦略)
- 18 イオンモールの重要課題 (マテリアリティ) 選定理由と方針
- 20 ステークホルダーエンゲージメント